

# 水稻作況試験情報 【平成 26 年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月20日現在）

田植後は最高・最低気温とも平年並みで推移したが、降水量、日照時間は少なかった。田植 30 日後の生育は、コシヒカリ・ヒノヒカリともに、過去 3 か年平均に比べて、草丈はやや長く、茎数はやや少なかった。おいでまいは、昨年と比べ草丈が長く、茎数は少なかった。

※農業試験場の移転により、綾川町の試験ほ場における生育データの蓄積が無いため、コヒカ、ヒノヒカリは過去 3 か年平均値との比較とした。おいでまいは、昨年データとの比較とした。

## 1. 作況試験の方法

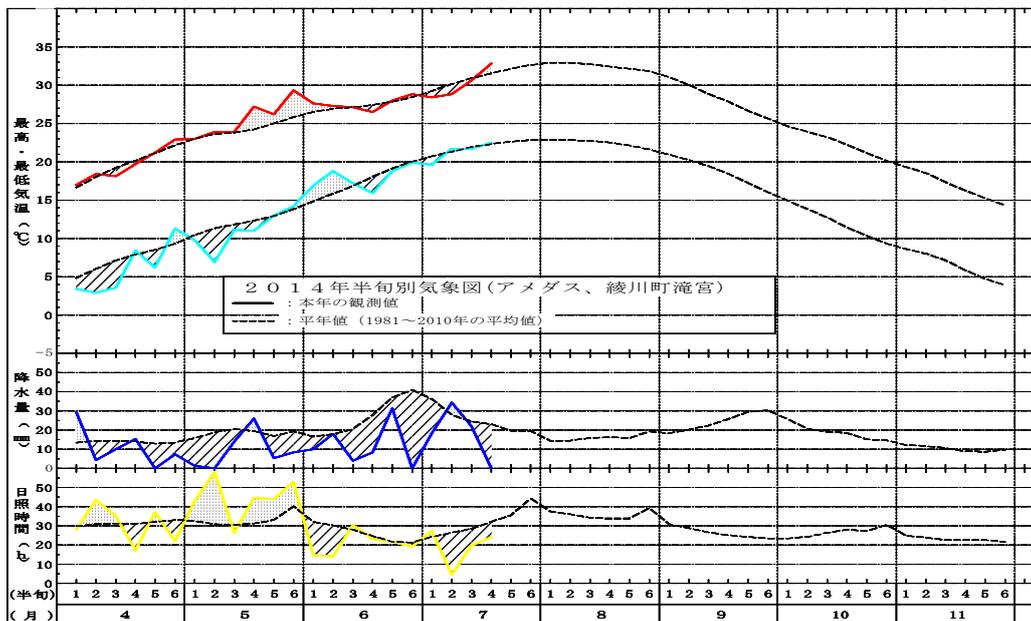
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月30日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5 株/m<sup>2</sup> (30 cm×18 cm)、1 株 4 本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後 1 株 4 本に調整した。
- 5) 本田施肥 (N成分kg/a)

	基肥	穂肥 I (予定)	穂肥 II (予定)
コシヒカリ	0.3	0.15	0.1
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料 (N : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : K<sub>2</sub>O = 14 : 10 : 12%)
- 7) 1 区面積及び区制 1 区 250 m<sup>2</sup> (コヒカ 500 m<sup>2</sup>)、2 反復

## 2. 具体的データ

平成 26 年産水稻 気象表 (7月4半旬まで)



平成26年度 水稲作況試験生育調査結果(7月20日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去3か年 平均値	差(比)	本年	過去3か年 平均値	差(比)	本年	前年	差(比)
移植時 (6/20)	草丈(cm)	16.3	15.4	0.9	12.8	13.3	▲ 0.5	12.9	11.4	1.5
	主稈葉数(枚)	2.2	2.6	▲ 0.4	2.4	2.6	▲ 0.2	2.4	2.4	0.0
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	37.3	38.4	▲ 1.1	30.7	32.3	▲ 1.6	35.0	29.8	5.2
	茎数(本/㎡)	216	205	5 %	207	227	▲ 9 %	216	314	▲ 31 %
	主稈葉数(枚)	7.4	7.0	0.4	7.4	7.0	0.4	7.8	7.1	0.7
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)	55.4	51.4	4.0	46.9	43.7	3.2	49.2	39.0	10.2
	茎数(本/㎡)	474	529	▲ 10 %	441	570	▲ 23 %	527	743	▲ 29 %
	主稈葉数(枚)	9.5	9.5	0.0	9.5	9.3	0.2	10.0	10.0	0.0
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)		73.9			65.6			64.6	
	茎数(本/㎡)		585	%		598	%		776	%
	主稈葉数(枚)		11.1			10.9			11.7	
播種期(月/日)		5/30	5/30		5/30	5/30		5/30	5/30	
移植期(月/日)		6/20	6/20		6/20	6/20		6/20	6/20	
幼穂形成始期(月/日)			7/27			8/7			8/7	
出穂期(月/日)			8/14			8/27			8/28	
主稈止葉葉位(枚)			12.9			13.8			15.0	
穂揃期穂数(本/㎡)			449	%		439	%		450	%
稈長(cm)			93.1			87.0			85.7	
穂長(cm)			18.5			17.7			19.0	
成熟期(月/日)			9/20			10/10			10/9	

注1)コシヒカリ、ヒノヒカリの差は過去3か年平均、おいでまいは、昨年のデータとの比較で示した。

注2)茎数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。